

10 番 遠 藤

受付番号第5号、質問議員10番、遠藤和秀。

件名、「町長の進退を問う」。

町長は、今年7月をもって4期目の任期満了を迎える。就任以降4期16年にわたり町政運営を担ってこられた。任期満了目前に控え、町政運営の総括と、今後の町政の方向性、併せて町長御自身の進退については町民の大きな関心事となっている。そこで伺う。

1、4期16年の町政運営を振り返り、町長が御自身が特に成果であったと考える点について、どのように認識して認識しているのか。

2、今年の7月の町長選においては、5期目を目指して出馬することについて、現時点での考えは。

以上。

議

長

答弁願います。

町長。

町

長

それでは、遠藤和秀議員から「町長の進退を問う」についての御質問をいただきました。

初めに、一点目の御質問の「4期16年の町政運営を振り返り、町長御自身が特に成果であったと考える点についてどのように認識しているか」についてであります。私は16年の長きにわたり町政運営を担わせていただき、この間、地域の皆様や職員の皆様の御協力により、多くの事業を実現してまいりました。

最初に思い出すのは、町立小・中学校の統廃合についてであります。私が町会議員の頃から様々な検討会において統廃合は進めるべきという検討部会を受けながらも、実現には至らない状況が続いておりました。

学校統廃合については地域ごとに様々な御意見があるため、私は何度も地域に足を運び、説明会を開催いたしました。そして、御理解をいただいた地域から順次進めることとし、清水の小・中学校、三保中学校から始まり、三保小学校まで当時の教育長の御尽力もあり、統廃合を無事に成し遂げることができました。

また、歴代の町長が長年にわたり取り組んできた山北駅前の周辺整備につきましては、サンライズやまきたと商業施設が整備されました。この事業の

実施に当たり、町の町有地以外の民間店舗の移転が課題となりましたが、職員が粘り強く対応していただいた結果、現在では多くの子育て世代の方々が居住されております。

そして、この事業がきっかけとなり、公民連携定住対策推進自治体連携連絡会を立ち上げることができ、佐賀県みやき町、熊本県長洲町などと、その後の防災協定につながる自治体連携を実現することはできました。

同じく原耕地地区への大型商業施設の誘致についても、当初から何度も困難な状況に直面いたしました。3度目の交渉で地権者の御理解をいただき、オープンすることができ、現在では山北町にはなくてはならない商業施設としてにぎわっております。

また、丸山の三井造船株式会社所有地への企業誘致につきましては、毎年誘致候補はありましたが、15年の長きにわたり実現できませんでした。町としては、これまで水道施設を建設するなど三井造船株式会社に協力してきた経緯もあることから、私自身、東京本社に伺い、社長に直接お願いをいたしました。その結果、株式会社トヤマの丸山本社工場の建設が実現し、これがきっかけとなり、その後のヒルズタウン丸山の分譲、清水建設株式会社の事業所開設へとつながりました。

そして、三保小学校の跡地利用については、鹿島学園からスクーリングの場所としてオファーをいただきました。当時、通信高校の開校については様々な問題がございましたが、多くの方からの御助言をいただき、無事に開校することができました。

さらに、平成26年8月8日には、新東名高速道路の仮称山北スマートインターチェンジの連結許可を受けることができましたのも、横浜国道事務所長などの多くの関係者の皆様からも御協力をいただいたたまものであり、本当に感謝しております。

また、その間にも森林セラピー基地の認定や横浜バイパスの開通、岸幼稚園の新築、蒸気機関車D52動態化、山北こども園の開園、東山北駅前広場の整備、水上テラスの整備など様々な事業を実現してまいりました。

なお、ユネスコの無形文化遺産に登録された山北のお峰入りの記念公演を川村小学校で実施できたことは、私の大切な思い出の一つであります。

こうした町政運営に並行して、神奈川県町村会長を2期4年務めさせていただくとともに、各種団体において47もの役職に就かせていただいたことは身に余る光栄であります。これらは役職の任期中には、多くの皆様に支えていただき、心から感謝申し上げます。

次に、2点目の御質問の「今年7月の町長選挙において5期目を目指して出馬することについて現時点の考えは。」についてであります。現在、私の体調面において、やや不安なところもあります。このため、5期目の出馬については見合わせることにし、次の方へ町政運営を引き継いでいきたいと考えております。

また、本年7月の町長選挙では、町民の皆様から信頼される方が選任されることを願うとともに、私自身も7月まで任期をしっかりと務めさせていただきたいと考えております。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 町長が退任を表明された以上、今後は選挙を見据えた行政ではなく、責任ある総括と整理が求められる。先ほどの答弁にもありましたけど、私が町政運営の成果として特に評価しているものが、水上テラスの整備です。人口増加につながる若者世代の移住が実現しております。あわせて、町として自治会会議の案内を行った結果、入居世帯全てが自治会に入会する大きな成果を上げている。今後、若者世代の定住促進と人口増加につながるように、ぜひこのようなことを引継ぎしておいていただきたいとお願いします。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように水上テラスに関しては、一番最初は駅前でサンライズやまきたをやらせていただいたんですけども、その後、私も定住促進の協議会の会長やったということもあって、何とか次の二つ目をやりたいということで水上テラスということを考えました。かつてはあそこには町営住宅が建っていたわけですけども、老朽化して非常に住みにくくなってるというか、そういうようなこともありましたし、また全部敷地が町所有ではなくて一部借り上げた、そういうような場所でもございました。そういった中で、地権者との理解もいただきながら、それをこういったような水上テラスのような形にしていこうというような計画を立てました。

当初は、駅前が6階建てだったんで4階建てぐらいがもしかしたら可能かなということで地域の皆さんと御相談しましたら、やはり向原の地域としてはせめて2階にしてほしいというようなことだったんで、2階でどのような建物を建てれば皆さんに住んでいただけるか、そういうようなことを考えました。その中でやはり道路の問題、道路を少し拡張しなければいけないとか、様々な問題がございました。

また、全てが若者の世帯だけではなくて、単身の方もいらっしゃるということで、いくつかワンルームのような単身世帯が住めるようなところを2階につくりました。そういったような中で実際にオープンしてから、そこに住んでいただける方がやはり地域の要望でありますやはり自治会に入っていたきたいというような流れの中で、非常に協力的に考えていただいて、今現在、おっしゃるように皆さんが自治会で入っていただいて、この地域に協力をしていただく。実際に今現在ここは上本村なんですけど、上本村のお祭りとかなんかにも、積極的に協力していただいているということで、私としては非常にありがたいなというふうに思っております。

山北町、やはり最初の山北のサンライズをやったときに思ったんですけど、6階建てで若者世帯を来ていただいたんですけど、あそこだけで新しくお子さんが生まれたりなんかしたのが非常に多かった。数十名以上がお子さんを産んでいただいた。それと同じように水上テラスも今現在本当に若い方が住んでいただいて、そして子どもの数もそれなりに増えてるというふうに感じております。こういったことが、山北町のこれからの少子高齢化に対して、非常に有効ではないかなというふうに思っております。

ですから、こういったような定住促進と合わせて、人口増加までは簡単にはいきませんが、そういったものにつながるような、そういったようなものを作ってこれたというのは私にとって非常にありがたいなというふうに思っておりますし、その中で、定住促進の会長をやらせていただいて様々な方とつながりを持って、その結果いろいろなところから会員の方からちょうど、富士山が爆発したら溶岩が流れてくるというような新聞記事が出たときに、茨城県の境町とそれから埼玉県の上本村からそういうことだったら協定を結ぼうというような、向こうからオファーをいただいて非常にありがたか

ったなというふうに思っております。そういったことも全てそういったような私のやらせていただいた中で思い出になっております。これからも、ぜひ様々な自治体と関係を持ちながら、もしものときには災害協定ができるようなことが、ないほうがいいんですけども、万が一のときにはそういったものが使えればありがたいなというふうに思っております。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 それと若い世代や子育て世代に対して、どのような未来像を引き継ぐのか、お聞きしたいです。

議 長 町長。

町 長 ちょうど先月、ここで子ども議会をやらせていただきました。そのときに最後に公表という中で答えさせていただいたんですけども、小学生6年生でしたけども、私が感じたこととか思ったことは、やはり小学生の頃は何でもできる、もうできないことはない。そういうふうに皆さん思ってほしいと。つまり、小さな子どもたちにとっては、未来というのは輝いてるわけです。今はできないかもしれないけども、必ずできると自分が思ったことが必ず可能になるということを申し上げました。

私は今の山北町の子どもにとっては、これからどんなことでも自分がいいと思ったことは、将来必ず実現するんだとそういうような気持ちでいてほしい。そういう子どもに育ててほしい。そういうために山北町はゼロ歳から15歳までの一貫教育を行っております。こういったことがこれからの子どもたちに引き継がれていけば、ありがたいなというふうに思っております。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 町長が退任されることは、町民にとって大きな節目であります。

最後に、町長としての総仕上げとして残された期間、最優先に取り組む政策が何かあればお聞きしたいです。

議 長 町長。

町 長 当然山北町で一番問題になったのは少子高齢化ということですので、今、子育てに対するプロジェクトチームをつくらせていただいて、それに対しては最優先で進みたいというふうに思っておりますけども、それ以上に私が行政に必要なことは継続性だと思っております。町長が代わって、いろんなこ

とがガラッと変わってしまうのは、やはり行政としてはよくないのではないか。今現在、第6次総合計画が3年目、6年から始まって3年目をこれから迎えますけども、少なくとも10年計画の中で大きな変化でなく、それにあったような徐々に変わっていくようなことが行政としては非常に大事ではないかなというふうに思っておりますので、私としても最終的には第6次総合計画にのっとったものを、残りの期間でしっかりと続けていきたいというふうに思っております。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 退任後も町の発展に関わるお考えはあるのか。お聞かせください。

議 長 町長。

町 長 当然今体調のほうはいろいろ御心配をかけて、いろいろあるんですけども、自分ができることであれば、今後も町のために発展のために何らかの関わりを持っていくことは当然だというふうに思っておりますので、ぜひこれからも一緒になって町の発展のために尽くしていきたいというふうに思っております。非常に長い間ありがとうございました。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 4期終了をもって、町長の退任されることに対して、その御苦勞に敬意と感謝を申し上げ、これからも町民の一人として町政に対し、御指導、御支援くださるようお願いを申し上げます、私の一般質問とさせていただきます。